令和８年度　文京区立金富小学校　授業改善推進プラン

第２学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	【知識・技能】 １学期の達成率は、83.5%で８割以上は達成していた。言語学習は好きな児童が多く、語彙をすすんで獲得でき、定着が図られた。一方で、漢字の定着は、個によって差が見られた。 「読むこと」についての達成率は、91.8%もあり、文章を正しく読んだり、想像を広げて考えたりすることができていた。	・興味、関心をもって主体的に学習に取り組めているが、漢字の反復学習に苦手意識のある児童が数名いる。少しずつでも毎日繰り返し復習して定着を図れるように促し、小テストを効果的に用いて、意識や達成感を高めていく。
算数	【思考・判断・表現】 １学期の達成率は74.1%であった。１年生での既習事項を活かして学習に取り組む児童の姿が見受けられた。しかし、文章題の問題では、考えを言葉や図で表現することが難しい児童や答えの単位をつけ忘れる児童が多かった。	・単元の繋がりを意識させ、既習事項を踏まえながら問題に取り組むよう、声かけや大事なポイントを黒板に掲示する等の視覚的な支援を行う。必要に応じて具体物の操作を行い、数量の概念理解を促す。また、見直しをして単位のつけ忘れや計算の確認については繰り返し確認をしていく。
生活	【思考・判断・表現】 「大きくそだてわたしの野さい」や「生きもの大すき大はっ見」では、水やりをすすんでしたり、生きものについての調べ学習に積極的に取り組んだりし、共通点や相違点を見付けることがたくさんできた。班や全体での意見交換も活発にできた。	・調べ学習や話し合いの場面でも、受け身な児童はほとんど見られなかったが、手立てを必要とする児童はいるため、適時適切に声掛けや今やるべきことの確認、可視化などのサポート進めていく。今後、思考を整理するための手立てをより充実させていく。
音楽	【知識・技能】 意欲的に音楽活動に取り組む児童が多く、鍵盤ハーモニカの演奏では、示範をよく見たり、聞いたりして、楽しく活動できた。鍵盤ハーモニカにおける運指やタンギング等の演奏技術や歌唱の発声、表現については個人差があるため、個別の支援が必要である。	・よい演奏や歌唱をしている児童を手本とすることで、よい音楽活動への取り組み方を学級全体に広めていく。また、全体指導の中でも個々の活動を把握し、それぞれの児童が課題を達成できるように、必要な声掛けや支援を行っていく。
図画工作	【思考・判断・表現】 描きたいことやつくりたいものをよく考えて、意欲的に創作活動に取り組んでいた。道具が正しく使えなかったり、想像を膨らませることが苦手だったりと、自分なりの創意工夫について支援が必要な児童がいることが課題である。	・材料の特性や学習のめあてを明確にして、見通しをもって活動に取り組めるように、学習の流れや道具の使い方等を視覚的に示しながら、繰り返し実践していく。 ・友達同士で相談したり鑑賞したりする活動を通して、作品作りへの意欲を高めていく。

体育	【思考・判断・表現】 　マット運動では、どんな動きをしたら上手にできるか、安全に楽しく運動できるかを考えながら取り組んだ。友達の動きを見たり、自分ができたことや押さえるべき点を振り返ったりすることで、達成感が増し、よりよい動きにつなげることができた。	・マット運動では、動きの習得に個人差が見られ、前転や後転などの基本的な技が十分にできない児童もいたため、引き続き基礎的な動きを繰り返し練習できるようにしていく。また、よいところを伝え合ったり、動画を撮り合って改善点を話し合ったりする活動を取り入れ、より客観的に根拠をもって考えられるように働き掛けていく。 ・動画を撮り、見合って話し合う時間の確保や振り返って共有する場を設定していく。